

真空浸炭強みアピール

松徳工業所 専用サイトで発信

松徳工業所（大阪府柏原市、横尾臣則社長、072・977・0112）は、真空浸炭熱処理事業強化のため情報発信を積極化する。専門の営業担当者を増やすほか、専用のパンフレットや専用サイトを設け、従来のガス浸炭処理に比べ強度が高く均一な処理ができ、省エネルギーで安全性の高い点をアピールする。同事業の年間売り上げ1億2000万円を2021年中に倍の2億4000万円を目指す。

高強度・省エネ・安全

真空浸炭処理は炉を「炭ガスを入れるため製真空で加熱した後に浸」品表面に酸化層が発生



真空浸炭処理を行う設備

せず、均一で高強度のレンの使用によりガス処理ができる。アセチ浸炭で困難だった深い

穴など複雑形状の製品にも対応。エチレンによりギアなどの刃先がもろくなるのも防ぐ。処理後の冷却はガスや温度の違う2種類の油から製品に応じて選択する。専用サイトで真空浸炭設備は真空浸炭設備

メーカーの不二越との対談や、ガス浸炭との比較実験などを掲載。不二越とは継続的に情報交換を行っている。また、大阪大学接合科学研究所と連携し、サンプル解析や高品質化に向けた技術開発に取り組む。

真空浸炭はガス浸炭と比べエネルギー使用量を約60%、二酸化炭素排出量を半分にできるといふ。火災や爆発のリスクも少なく自動化もしやすいため従業員の作業環境も向上する。

国連の持続可能な開発目標（SDGs）の生産的な雇用や持続的な産業化などにつながる」として注力する。